

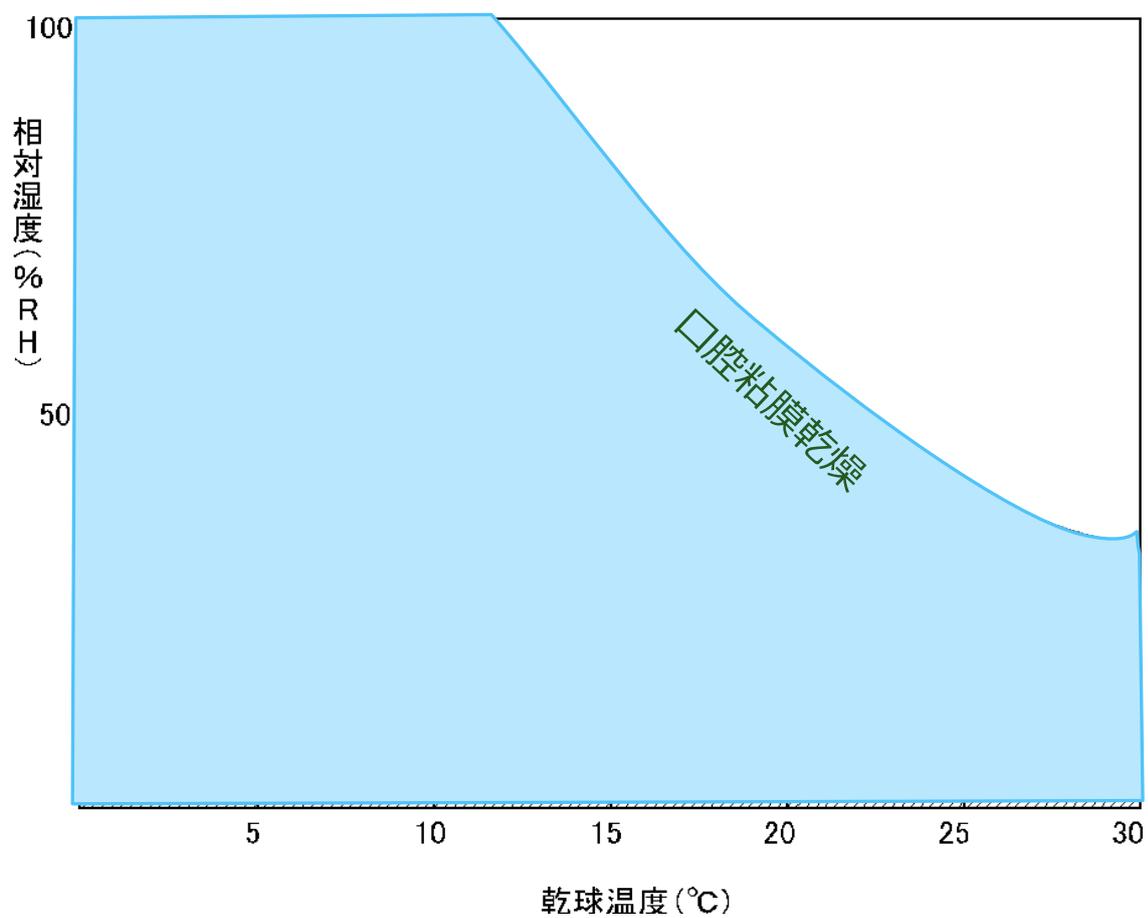
ピーエス施設用加湿器概要資料

- 加湿の必要性
- 3つの加湿方式
- ピーエス施設用加湿器

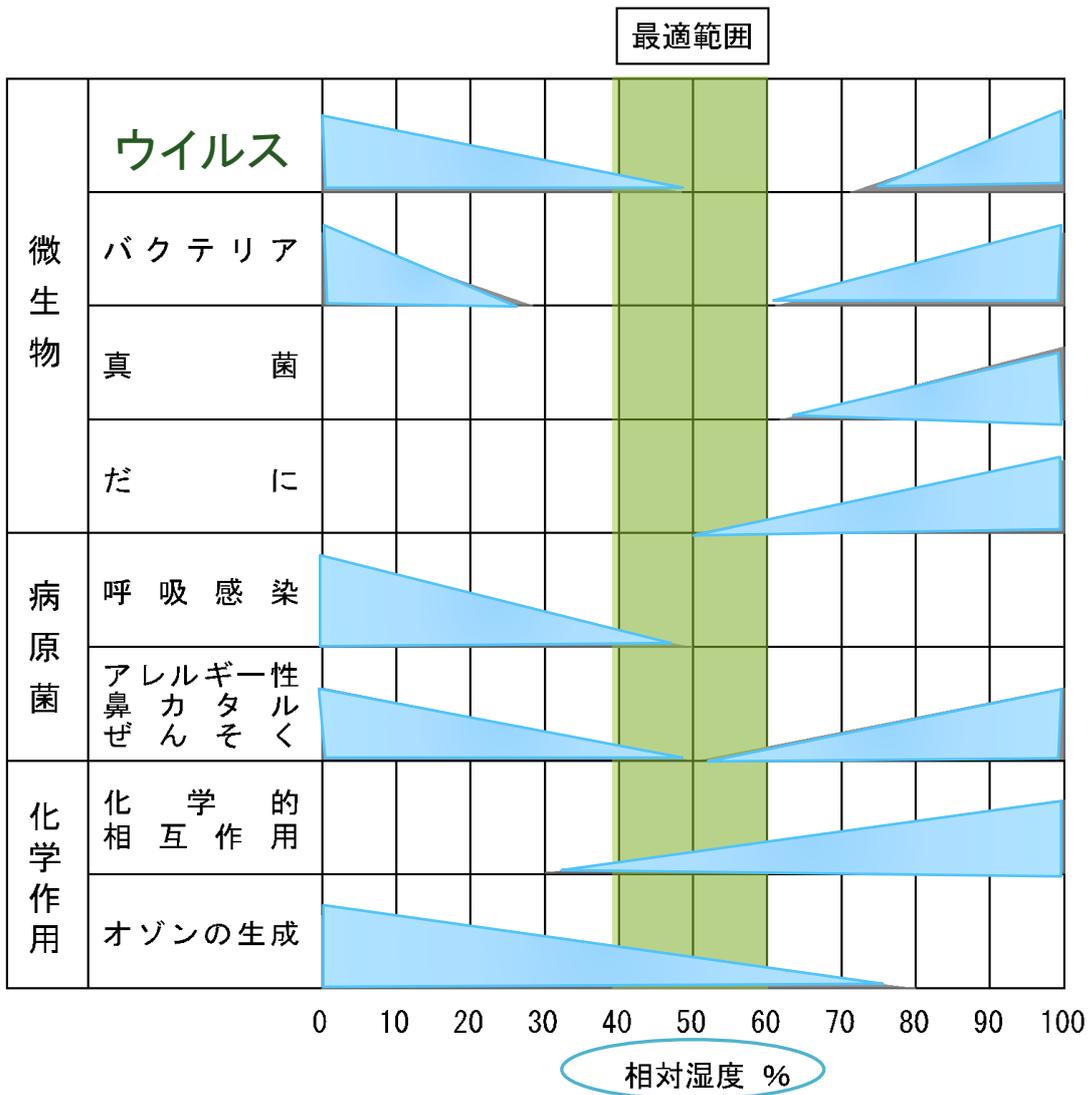
加湿の必要性

口腔粘膜乾燥を起こさない限界の湿度曲線

三浦豊彦 (1978)



加湿の必要性

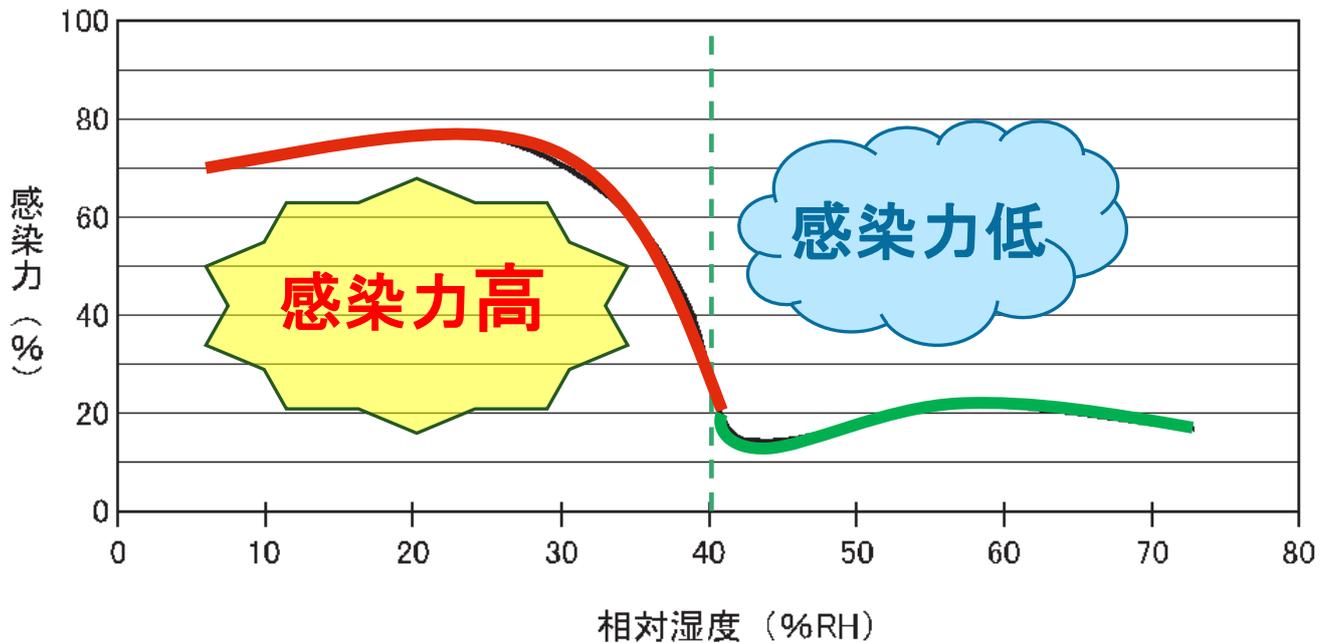


健康に対する最適湿度範囲 ASHRAE Trans. 91-B (1985)

インフルエンザウイルスの生存率

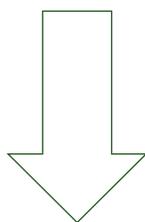
相対湿度とインフルエンザウイルスの感染力 咳シミュレーターによる実験結果

High Humidity Leads to Loss of Infectious Influenza Virus from Simulated Coughs
Noti et al 2013 より NIOSH 米国国立労働安全衛生研究所



インフルエンザウィルスの生存率 と湿度のグラフから分かること。

- 湿度が、20%から35%に上がっても感染率はほとんど変わりません
- 湿度35%までの加湿であれば、それにかけたコストも労力も効果がありません
- 湿度35%までの加湿であれば、加湿が効果的であったか評価できません（湿度環境ができていない為）
- 加湿での対策をする場合は、確実に湿度40%以上になる計画をする必要があります



推奨温湿度
22℃ 40%RH

レジオネラ菌について

Q.4:レジオネラ属菌はどのように感染しますか？

レジオネラ症は、主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）の吸入などによって、細菌が感染して発症します。レジオネラ属菌はヒトからヒトへ感染することはありません。

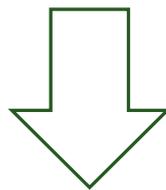
1.エアロゾル感染

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾルを吸入することによって感染します。代表的なエアロゾル感染源としては、冷却塔水、加湿器や循環式浴槽などが報告されています。

Q.5:加湿器などからの感染を防ぐためにはどうしたらよいですか？

超音波振動などの加湿器を使用するときには、毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。レジオネラ属菌は60℃では5分間で殺菌されるので、水を加熱して蒸気を発生させるタイプの加湿器は発生源となる可能性は低いとされています。

(厚生労働省HP レジオネラ症 より)



加湿の方式も重要です

ピーエス施設用蒸気加湿器の特徴

蒸気による暖かい加湿

クリーンで衛生的

自動給水 人による給水の手間は不要

自動で湿度調整 確実に湿度40%以上に

メンテナンスは年1回、メーカーより



設置例

1台で広範囲への加湿デザイン

どの居室でも湿度40%以上に

